

講義名	リーダーシップ養成A		
科目区分	教養一般		
担当教員	石黒 太 / 南木 陸彦		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

リーダーシップ論等を学び、グループで活動することを通して、自らの特徴を生かしてリーダーシップを発揮する力を養う。まず、リーダーシップとは何かを学ぶ。次に「自己発見とキャリア開発」等の「気づきの教育」での体験や成果を共有して、オープンキャンパス等での展示の素案を作成する。最後に自らのリーダーシップの特徴を把握する。授業時間外に「オープンキャンパス」で活動する。この科目と共に後期の科目である「リーダーシップ養成B」も受講し、「自己発見とキャリア開発A」のCAとしての能力向上をしていただくことも期待している。CAとして登録されない場合でも、本学の様々な活動の場面でリーダーシップを発揮することを期待している。

到達目標

- ・自分自身の特徴を生かしたリーダーシップを発揮することができる
- ・「自己発見とキャリア開発」等の「気づきの教育」の体験や成果を、言葉、文章、図表等で表現することができる
- ・オープンキャンパス等でリーダーシップを発揮して活動する

提出課題

様々なワークシートを授業内で作成する。
「自己発見とキャリア開発」の体験や成果を示したオープンキャンパス等での展示プランを作成する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

成果物や提出物は、授業中に講評・解説する。
オープンキャンパス等での展示物は、実際の参観者の反応により、フィードバックを受ける。

評価の基準

授業への積極的な参加と成果物の出来栄で評価する。なお、夏休み中に1回程度ミーティングを行う可能性がある。また夏休み期間中のオープンキャンパスで、この科目で身に付けたリーダーシップを発揮したかどうか、評価に加味する。つまり、これらの授業時間外活動への参画の度合いにより、前期に付けた成績を修正する場合がある。

履修にあたっての注意・助言他

授業終了後も、ミーティングや活動を行うこともあり、授業時間外の「学習時間」が相当長くなるので、あらかじめ心づもりをしたうえで受講すること。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業中に配布する

授業計画

シラバス執筆時の予定であり、受講生数等により変更する可能性があります

第1日
1. リーダシップとは何か
2-4. グループで「自己発見とキャリア開発」等の「気づきの教育」での体験や成果を共有、発表
4-5. 合意形成・意思決定の手法・演習

第2日
1. オープンキャンパス展示の意義・昨年度事例の紹介
2-4. グループで分担し、オープンキャンパス等での「展示」素案作成、発表
5. プレゼンテーション演習

第3日
1-3. 自己分析とリーダーシップ
4. 自分自身や他のメンバーのリーダーシップの特徴
5. 全体まとめと今後の予定の確認

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/>	ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/>	ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク
<input type="checkbox"/>	オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

この授業で得た力を発揮する場として「オープンキャンパス」を用意している。
授業終了後も、夏休み中に1回のミーティングをするほか、オープンキャンパスの前日準備、当日の来訪者への説明などを行う。予習・復習と言うわけではないし、その多くは科目終了後になるが、広い意味での授業時間外の「学習時間」が相当長くなる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

受講生間ならびに、担当教員と受講生の、相互啓発的な形の双方向授業を実施する。

実務経験の有無及び活用

備考